

平成24年第2回定例会
予算決算常任委員会 教育警察分科会

I 議案補充説明

ページ

議案第1号 平成24年度三重県一般会計補正予算（第3号）	
【教育委員会関係】	1

平成24年10月4日

教育委員会

議案第1号

平成24年度三重県一般会計補正予算(第3号)

【教育委員会関係】

歳出補正予算

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	補正後の額
教育費	教育総務費	22,372,654		22,372,654
	小学校費	57,589,822		57,589,822
	中学校費	32,356,956		32,356,956
	高等学校費	35,937,154	95,643	36,032,797
	特別支援 学校費	10,854,909	7,533	10,862,442
	社会教育費	1,240,386		1,240,386
	保健体育費	507,129		507,129
合計		160,859,010	103,176	160,962,186

歳出補正予算の内訳

(単位:千円)

事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	内容
高等学校費 校舎その他建築費	1,548,484	95,643	1,644,127	旧宮川高等学校敷地(大台厚生病院移転予定地)内に残る管理教室棟及び体育館等の解体工事を行う。
特別支援学校費 特別支援学校施設建築費	290,819	7,533	298,352	こども心身発達医療センター(仮称)に併設する新たな特別支援学校の地質調査委託等を行う。

債務負担行為

(追加)

(単位:千円)

事項	期間	限度額
旧宮川高等学校校舎等解体工事に係る契約	平成25年度	137,073
こども心身発達医療センター(仮称)に併設する特別支援学校整備事業(建築設計等)に係る契約	平成25年度～平成26年度	38,422

<参考>

こども心身発達医療センター(仮称)と新たな特別支援学校に係る設計費等

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度～ 平成26年度 (債務負担行為)	計
こども心身発達医療センター(仮称) (健康福祉部)	64,160	127,538	191,698
新たな特別支援学校 (教育委員会)	7,533	38,422	45,955
計	71,693	165,960	237,653

資料 1

こども心身発達医療センター（仮称）の整備に伴う 新たな特別支援学校の整備の概要

1 基本的な考え方

小児心療センターあすなろ学園及び草の実リハビリテーションセンターが、隣接する三重病院と機能連携して「こども心身発達医療センター（仮称）」として一体的整備を図ることを契機に、あすなろ学園に併設している津市立高茶屋小学校・南郊中学校の両あすなろ分校を県立特別支援学校とし、草の実リハビリテーションセンターに併設する県立城山特別支援学校草の実分校、及び三重病院に入院する児童生徒が在籍する県立緑ヶ丘特別支援学校の3つの学校を一体とした新たな特別支援学校（病弱教育部門と肢体不自由教育部門）に再編し、整備します。

- ◇ 津市立小中学校のあすなろ分校【病弱】→ 県立特別支援学校に移行
- ◇ 県立城山特別支援学校草の実分校【肢体不自由】→ 引き続き県立として位置づけ
- ◇ 県立緑ヶ丘特別支援学校【病弱】→ 引き続き県立として位置づけ

3つの学校を一体的に整備

医療との連携によって「こころ」と「からだ」の育ちの両面に対応するセンター的な機能が発揮できる県内全域の小中学校や高等学校等の発達障がい児、肢体不自由児等の教育支援の拠点として整備

2 学校施設の配置

- (1) あすなろ分校、草の実分校にあたる学校施設については、こども心身発達医療センター（仮称）に併設
 - ・ 児童生徒数 病弱教育部門80名、肢体不自由教育部門30名
 - ・ 延床面積 約4,100㎡（病弱教育部門・肢体不自由教育部門ごとに普通教室及び特別教室を設置、一部の特別教室は部門間で共用）
- (2) 緑ヶ丘特別支援学校にあたる学校施設については、現在の施設を引き続き活用

3 今後のスケジュール

今後の整備に係るスケジュールは、概ね次のとおりとしています。

- ・ 平成24年度～平成26年度 建築の基本設計・実施設計等
- ・ 平成25年度～平成28年度 建築工事等
- ・ 平成29年4月 開校（病院開設と合わせて）

こども心身発達医療センター（仮称）整備予定地
敷地利用想定

敷地概要図

